

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩心 会 発行

11年 1月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 計	会員数 133名 197名 33名 363名	11年 1月 (318号) 発行者 千葉岳関 編集者 白井岳麗
---------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------

行事予定

- 春季審査会
日時・3月24日(日)
会場・図書館ホール
- 皆伝会
日時・5月9日(日)
会場・図書館ホール
- 碩心会温習会
日時・6月予定
会場・図書館ホール
- 碩心会夏季吟道講座
日時・7月18日(日)
会場・図書館ホール予定
- 吟行会 さくらんぼ狩の予定(山形)
日時・6月13日(日)～14日(月)
- 岳初(佐藤ハツ) 28(岳桂) 石渡桂子
- 岳峰(矢沢貞吉) 36(岳笙) 荒木美智子
- 岳扇(佐竹スイ) 39(岳以) 高梨以祢
- 岳章(上村章) 48(岳茅) 木村正雄

総伝認許

(11年1月1日付)

神奈川県本部事業予定

- 高段者審査会
日時・2月14日(日) 皆伝
2月28日(日) 九段、十段
場所・平塚農業会館
9時受付、9時20分開会式
審査料・二千五百円
締切・1月17日(日) 各支部、教場毎に
まとめて許証部へ。払い込み後
の返却は致しません。
当日持参するもの。
審査申込書、吟道手帳、昼食は
各自用意。審査申込書は、後日
許証部より配布致します。
※審査取消し、受審日変更希望者
は早めに許証部まで連絡のこと。
会長責任で申込みをする関係上
人員の把握は充分に配慮をお願
いします。 許証部
- 県本部初理事会・初吟会
日時・1月31日(日)
会場・平塚農業会館

○準師範講習会

日時・2月7日(日)

会場・平塚農業会館

○青少年育成の日

日時・3月28日(日)

場所・金沢自然公園動物園

対象・高校生以下とその指導者

及び家族

○第5回全国優秀吟者吟道大会

日時・3月21日(日)

会場・明治神宮会館

○総伝会(総会)

日時・4月4日(日)

会場・平塚農業会館

○第4回年齢別吟詠大会(65才以上)

日時・5月4日(日)

会場・栄区民文化センター「リリス」

○第8回神奈川地区青少年吟道大会

日時・5月16日(日)

場所・金沢公会堂

年令25才以下

○神奈川県本部総会

日時・5月30日(日)

新年にあたり新たな決意で

会長 千葉 岳 関

会員の皆様、明けましておめでとうござ
います。皆様お元気で新年を迎えられたこと
とご同慶にたえません。

本年も吟道精神を支柱として、当会が益々
発展するよう願ってやみません。

お互に健康には充分に留意して研鑽に努め
て参りましょう。

さて一年の計は元旦にありと申します。い
ろいろ業務は増大し、やるべきことは沢山あ
りますが二十一世紀を展望し、まずやるべき
ことの第一は何と申ししても会員の増強で
あります。今年こそ指導者及び有資格者が先
頭に立つて会員増強を目的に諸施策を案出し
て参ります。しかしこれだけでは活動不足で
す。会員の一人一人が自己の経験に照らして
和と幅を拡げ、会の一大再生を図るよう努力
を傾けようではありませんか。
よろしくお願い申し上げます新年のごあいさつ
と致します。

平成11年の新年を迎えて

副会長 加藤 岳 洵

会員の皆様、並びにご家族の方々にはご壮
健にて、一九九九年の新しい年をお迎えにな
られたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、5月碩心会の総会において、役員改
選が行なわれ、新会長千葉岳関先生の下、新
役員体制により活動がはじまりました。

新体制の中にあつて、諸改革が行なわれ、
その中で初めての企画である夏期吟道講座を
催しましたが、会員の皆様から好評を頂き、
本年も継続して開講される運びになりました。

会員の増加対策と相俟つて、これからは会
員各位の吟力の向上と、質の充実を図り、県
本部傘下、55会の中でも注目される碩心会で
あるよう、皆様と努力したいと思ひます。

創立60有余年の輝やかなしい歴史を重ね、そ
して先輩の方々が築かれた伝統に誇りをもつ
て、そして今後、現代にアピールする吟道の
研鑽、普及に努めようではありませんか。

皆様には、今年も健康で活躍され当会の躍
進のためにお力添えを賜りますようお願いい
申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年を迎えて

副会長 中村 岳 愛

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願っています。

私は、今年も健康体で新しい年を迎えられましたことを心から感謝しております。「健康第一」という言葉は、万人の知るところであります。年が始めに当り、くれぐれも健康に気をつけるように心誓いましょう。

詩吟はお腹から声を出すことにより、健康が維持されますので今年もがんばりましょう。そして又、詩吟を通じて、多勢の方々との和を保ち、今年も健康で楽しく過ごしましょう。

新年のあいさつ

松井 正 岳

平成十一年の新春、明けましてお目出度うございます。碩心会員の皆様がご家族と共に、輝かしい新年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

碩心会も今年で創設六十二年となりますが、

私自身も自分の歳とかさね合わせ、つくづく六十二年の年輪の大変さを感じております。今年には会員の皆様と共に会の発展に努力していきたいと思っております。どうか本年もご指導、ご鞭撻下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。一日一日を大切に明るく健康な一年でありますようにご活躍をお祈りいたします。

堀内支部35周年記念大会

支部長 上村 岳 章

去る12月13日の堀内支部35周年記念大会には会長、顧問の先生方始め常任理事等並びに各支部の方々のご参加を得まして無事盛会裡に終了させていただきましたことはひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げます。また準備期間が少ない中、此の大会が実現出来ましたのはひとえに堀内支部会員が全員で一致協力し、何としても成功させる熱意でまとめあげたことでした。

願われますれば35年前より現在まで堂々と続けて来られたのは、先輩会員の多くの方々の努力の結果であります。

昨今の青少年の犯罪や非行の原因を考える

につけ、健全な精神の育成は急務であります。なにか腫れ物でもさわる様な扱いは反って若者を侮辱する結果につながります。

次の時代を担う人達をもっと信じて色々な方面から語りかけて行くことが肝要ではないでしょうか。

これからの次代まさに21世紀への橋渡しをしなくてはならないのが私達の役目です。これからの若い人達の心の支えに成るように詩吟を通じて語り掛けて行きたいものと考えます。

堀内支部40周年を目指して新たな気持ちで取り組んで参りたいと考えて居ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

俳句

岩崎 岳 恵

どんど待つ寒氣足踏みくり返す

餅脹れ無学の頭空らつぽに

口あけて焼かるる小鯛寒きびし

総伝認許を戴いて

松和 木村 岳 茅

平成11年1月1日付で碩心会の幹部の方々のご推挙をいただき総伝を認許されました。何から書いたらよいか戸惑って、吟歴と自分がどのように詩吟に取り組んでいるかを：詩吟の門を叩いて20数年。私ごときに総伝など思ったことありませんでしたが、今日の現実に驚ろいています。昭和56年準師範、平成6年2月師範。大船地区長を平成2年より10年まで。吟歴は26年弱。入門の動機は、従兄弟のすすめ、先生は三井先生。どうせ長く続くとは思いませんでしたが、だんだん面白くなつて現在に至る。入門当時は謙虚な気持で、先輩の吟に耳を傾け範吟のテープを繰り返して聞きながら勉強しました。若い頃は鉄道省混声合唱団のテノールの部で4年弱勉強、二、三年でかなり上達し先輩から賞められてすっかりいい気で天狗になりました。しかし詩吟は決して生やさしいものではありません。温習会や大会でうまく吟じられたと思えるのは、年に一度あるかなしか。もし自分でうまいと思つたら自分の吟をテ

ープに入れて聞いてみて下さい。欠点だらけで他人に賞められたからといって嬉しがるものではありません。それで有頂天になるようでは上達しないと思います。

次に私なりに留意していることの一つは母音を大切にしています。その二、メリハリをつけ、ただ高い声を張り上げて吟じることなく、三は流れをなめらかに低音から中音へ、また中音から低音への移行は、さほどむづかしくはありませんが、中音から高音に、高音から最高音へとつないで行くことは初心者にはむづかしいですね。四、転句こそ詩吟の「聞かせ所」であるのに、声が途中で横へ流れてしまうのではないけません。五、自分に適した声質で吟じるように工夫することです。

六、中音の節尻を次節の歌頭まで引き上げて止めると、吟の流れがよくなります。七、詩吟上達の近道として「コツ」を弁えておくことが大切と思ひ平素から以上のようなことを念頭において来ました。

総伝の認許の事と大分違っていると思ひますが、総伝の重みを十二分に理解して総伝であることに誇りをもって、これからも精進するつもりです。

入会

502 鈴木光代 横須賀市公郷町四一七一五

(幸和) ☎〇四六八一五一〇七〇九

503 上村親子 葉山町堀内一二八五

(滝の坂) ☎〇四六八一七五―三三九七

504 宮村康子 横須賀市坂本町二―二三

(唐木山) ☎〇四六八一二二―四八〇九

退会

62 沼田真岳(堀内D) 181長島歳風(一色)

移籍

479 中司裕子 逗子Bより逗子A支部へ

161 西川幸岳 真澄支部より幸和支部へ

支部長変更

幸和支部 新支部長 西川幸岳

編集後記

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山

もとの姿は かはらざりけり」

逗子、葉山に住む幸として、穏やかな海の彼方に雪の衣も美しい富士を見ることができません。改めて山岡鉄舟の心ふれた思いです。本年もどうぞよろしくお願い致します。

広報部 白井、佐久間

磯村、西岡